

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立金泉中学校

4月に文部科学省による全国学力・学習状況調査を実施しました。これは義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図ることが目的です。学校においては、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることやこれらの取組を通じて、教育に関する継続的な検証・改善を確立することを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせします。

## ■ 調査期日

令和6年4月17日（水）・18日（木）

## ■ 調査の対象学年

中学校3年生

## ■ 調査の内容

### (1) 教科に関する調査

〔国語, 数学〕
<ul style="list-style-type: none"><li>・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li><li>・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など</li><li>・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容</li><li>・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容</li></ul>

### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

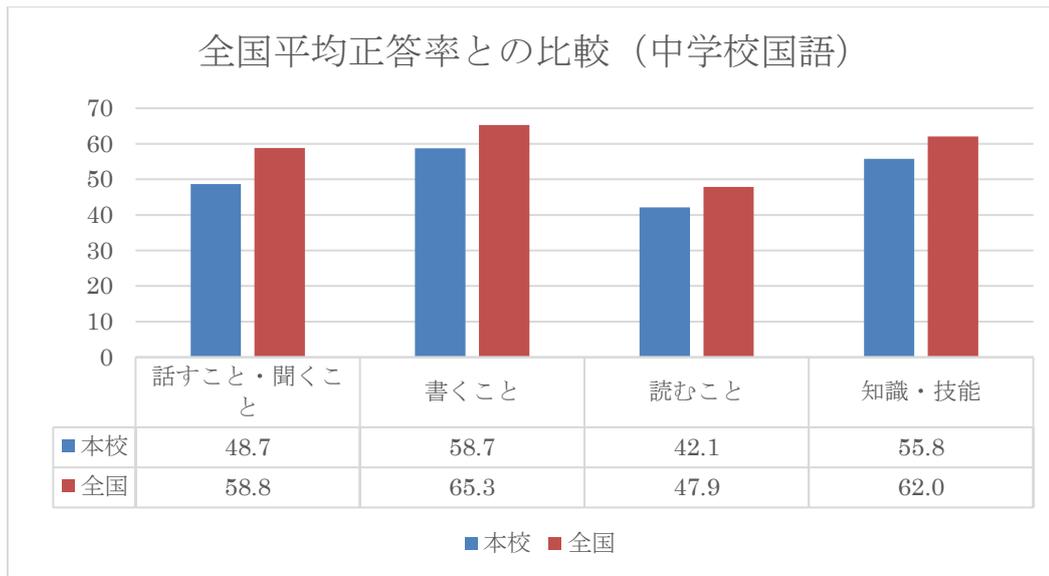
児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況, 児童生徒の体力・運動能力の全体的な状況等に関する調査

## ■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は中学3年生が対象であり、教科は国語・数学の2教科に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野（問題）です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部分」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了承のうえ、ご覧ください。

# 1 国語

## (1) 結果



## (2) 考察

全15問中5問で全国平均を上回っている。領域別では、知識・技能の「我が国の伝統文化」で全国平均を3.8ポイント上回っているものの、思考・判断・表現の「話すこと・聞くこと」で10.1ポイント、「書くこと」で6.6ポイント、「読むこと」で5.8ポイント全国の平均を下回っている。また、問題形式別では、選択式、短答式、記述式のいずれも全国と県の平均を下回っている。

### <話すこと・聞くこと>

話し合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く問題において、全国平均を1.3ポイント上回っているが、話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する問題において、全国平均を18.2ポイント下回っている。

### <書くこと>

物語を書くために集めた材料取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する問題において、全国平均を1.1ポイント上回っているが、表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する問題において、全国平均を14.4ポイント下回っている。

### <読むこと>

短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える問題において、全国平均を5.7ポイント上回っているが、本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する問題においては、全国平均を17.1ポイント下回っている。

### <言語についての知識・理解・技能>

短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する問題において、全国平均を2.2ポイント、行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する問題において、全国平均を3.8ポイント上回ったが、本文中の情報と情報との関係を説明したものとして適切なものを選択する問題において、全国平均を18.1ポイント下回った。

## (3) 学力向上のための取り組み

### 【学校では】

具体と抽象など情報と情報との関係について理解することにあるので、論理の展開を捉えて読む学習や、論の進め方を工夫して書く学習を行います。

### 【家庭では】

長文読解の問題に多く取り組むことで語彙を獲得し、文章理解力や記述力を伸ばしてほしいと思います。